

大和ハウスグループ様 エンドレス募金
シェルター支援に関するご報告

国連 UNHCR 協会 事務局

平素より国連の難民援助活動に温かなお力添えをいただき誠にありがとうございます。
ウクライナ侵攻やガザ問題など、世界の分断がさらに進む中、問題が中長期化している地域でも依然深刻な状況が続いています。紛争や迫害、大規模な自然災害等により故郷を追われた世界中の難民の方々は、家を含めたほぼ全ての財産を故郷に残して避難されていますが、避難生活を送るうえで必要不可欠な支援が難民の方々の家となるシェルターです。皆さまからお寄せいただいた大変温かなご寄付は、このシェルター支援に活用させていただきましたので、主な国における支援内容につき以下の通りご報告申し上げます。

<アフガニスタン>

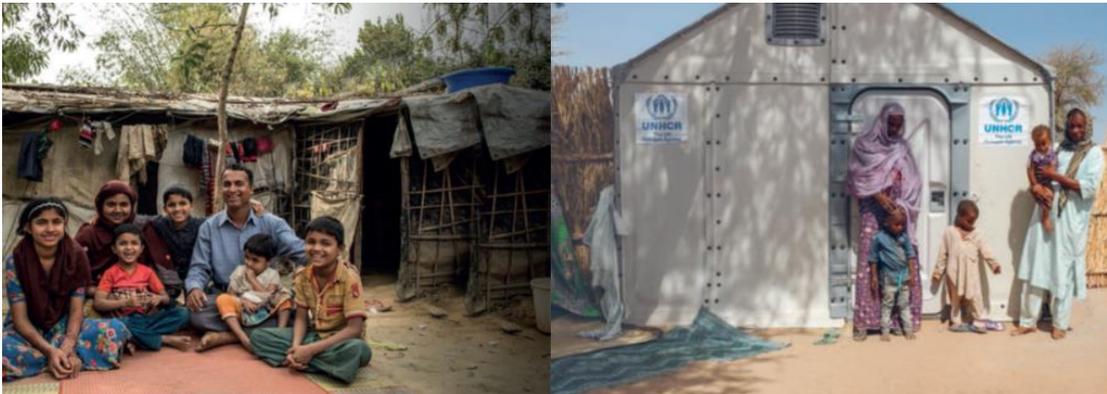
- ・緊急シェルターの支援対象者数：9,302 人（1,329 世帯）
- ・大地震発生地域での緊急シェルター建設のための支援を受けた人々：8,162 人（958 世帯）
- ・永続的なシェルター建設のための支援を受けた人々：10,635 人（828 世帯）

<ミャンマー>

- ・緊急シェルター建設のための支援を受けた人々：10,931 人

<ウガンダ>

- ・緊急シェルターの支援対象者数：23,097 人



近年の世界情勢の中で支援対象者は年々増え続け、2024 年 5 月時点で日本人口に匹敵する 1 億 2 千万人を超えました。彼らの避難生活は長期に渡り、平均で約 17 年にも及びます。長期にわたる避難生活を送るうえで、住まいとなるシェルターは、暴力や迫害による肉体的・精神的ダメージから回復するために必要な基盤となるものです。難民・国内避難民の方々が置かれた窮状にお心をお寄せいただき、シェルター支援に対する大変温かなご寄付をお寄せいただきましたこと、重ねて心より感謝申し上げます。
今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。